



# おおふじ



第4号

平成29年6月30日

6月もいろいろな方に支えられながら、大藤小学校の教育活動が進められていきました。特に、親子ふれあい学級、引き渡し訓練、廃品回収、給食試食会では、多くの保護者の方に参加していただきました。本当にありがとうございました。また、授業参観等で子どもたちの様子を見ていただき、我々職員の願いを感じとっていただくことができているのでしょうか。大藤小学校にもいろいろな子がいて、いろいろなことがありますが、幸いにも大きな事故等なくここまで来ています。職員一同、子どもたちの成長を願い、ご家庭、地域の方々と協力をして、今後も子どもたちのために努力していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



## ソーシャルスキルトレーニング

「自分の考えを、きちんと話すことができる。…… そう思う：41%」

これは、昨年度の学校評価アンケート（児童用）の結果です。

自分の気持ちの表現の仕方を教えることは大切です。（一部には、自然に身についていたのは、昔のことだと言われているそうです。）できていない子は、集団の中で強いストレスを感じるようになることがあります。強いストレスを感じ続けている子は、人を避けたり、ささいなことで爆発したり、切れたりするようになるといわれています。

「自分の気持ちをきちんと相手に伝えましょう」は、他人と良い関係を築き、社会に適応するために必要な能力（ソーシャルスキル）の一つです。ソーシャルスキルの中には、「あいさつをしましょう」「お手伝いをしましょう」「ルールを守りましょう」などがありますが、そのどれもがお互いに強い繋がりをもっているように思われます。



子どもたちにとっては少々口うるさく、面倒くさく感じることも知れませんがとても大切なことばかりです。子どもたちが、ソーシャルスキルを身につけられるように、上手に伝え、トレーニングしていきたいものです。

（4号文責：校長 森 敦睦）